

## 船舶事故等調査報告書

平成21年10月29日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第36号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成20年9月22日 07時05分ごろ	
発生場所	愛媛県武豊町衣浦港西防波堤灯台から真方位232° 1,700m付近 (概位 北緯34° 48.74′ 東経136° 55.46′)	
事故等調査の経過	平成20年10月1日、本事故の調査を横浜地方海難審判理事所から引き継ぎ、調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 <sup>しんえい</sup>信栄丸 1.0トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AC3-38117（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	船外機濡損	
事故等の経過	<p>本船は、平成20年9月22日05時ごろ、2人が乗り組み、愛知県美浜町河和漁港を出港し、05時20分ごろ美浜町沖でアサリ底びき網漁を開始し、数回の操業で漁獲したアサリ約400kgを約20kg入る袋に分けて詰め、船尾左舷側に数段にして積み操業を続けた。</p> <p>本船は、07時ごろ網を揚げたとき、網の中に大量のアサリと砂が入っていたが、そのまま網を揚げることにし、網を揚げ始めたとき、網が揺れて船体が動揺した際、数段にして積まれていたアサリ入りの袋が荷崩れをおこし、船体がゆっくり左舷側に傾き始め、07時05分ごろそのまま左舷側に転覆した。</p> <p>本船は、船首甲板のマスト(高さ3.8m)が海底に着底して傾きが止まり、船長ほか乗組員1人は本船船底に座っていたところ、同乗組員は、近くを通った僚船に移乗して帰港した。</p> <p>船長は、ダイバーに依頼して本船を復原し、本船はダイバーの船にえい航されて帰港し、海中に没したアサリ入りの袋、漁具などは僚船が回収した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約3.0m/s</p> <p>海象：潮汐 上げ潮の中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、大量のアサリ等が入った網を揚げ始めたとき、網が揺れて船体が動揺し、船尾左舷側に数段にして積まれていたアサリ入りの袋が荷崩れしたことにより、転覆したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が美浜町沖において、大量のアサリ等が入った網を揚げる際、船体が動揺し、船尾左舷側に段積みされていたアサリ入りの袋が荷崩れしたため、転覆したことにより発生したものと考えられる。	

